

「第4期岐阜県障がい者総合支援プラン」に関する主なご意見及びプランにおける取組み状況

資料1-5

	意見聴取日	ご意見	該当ページ	主な取組み内容・記載事項
1	令和5年4月24日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	現行プランには、行政側の役割は明記されているが、当事者側の役割について明記されていない。当事者の方々にも「他人事」ではなく「自分のこと」として意識できるようなプランになってほしい	p5	・障がいのある人等も、県の施策に協力し、主体的かつ自主的に、基本理念に対する県民の理解の促進及び意思疎通手段の普及に努めるとともに、意思疎通手段を利用する上で障壁があると感じた場合は、それを周囲の人に積極的に伝えるよう努めることが期待されます。
2	令和5年2月16日 第2回岐阜県障害者 施策推進協議会	デフリンピックの認知度を向上させてほしい	p23、 p84、 p227	・デフリンピックの開催について記載 ・パラリンピック、デフリンピックを含めた、国際大会等を目指す次世代のトップアスリートを育成するため、県内のパラアスリート、チーム、団体の競技力向上を支援します。
3	令和5年2月16日 第2回岐阜県障害者 施策推進協議会	コロナ対策について、5月に、2類から5類に変わるが、まだ、病気が無くなったわけではないので、支援を継続してもらいたい	p25、 p61～ p62	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響について記載 ・医療支援に対応できる医療機関の確保、感染症の予防及びまん延の防止のための研修・訓練や、業務継続に向けた計画（BCP）の策定及び研修・訓練、備蓄品の確保が、障がい者施設等において平時から適切に行われるよう、市町村等と連携して指導・助言をしていきます。
4	令和5年9月6日 第1回岐阜県障害者 施策推進協議会	この3年間、事業所ではコロナ対策を強いられ行動制限も多く、地域に出いけない状況が続いた。施設の運営は現在も大変厳しい状況であり、事業所は既に疲弊している。人材不足が大きな課題となっている。障がい福祉の現場の職員が安心安定して働けるよう支援をお願いしたい	p25 p111	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響について記載 ・障害福祉サービス施設等の業務省力化、生産性向上のため、介護ロボット、ICT機器等の導入を推進します。
5	令和5年5月30日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	ヘルプマークに加え、「耳マーク」の理解促進を行ってほしい	p30	・障害者週間などの機会をとらえ、市町村や障がい者関係団体と連携して、障がい者マークの普及啓発に取り組みます。また、岐阜市等と連携し、白杖SOSシグナルの啓発に取り組みます。
6	令和5年2月16日 第2回岐阜県障害者 施策推進協議会	知的障がいの方や発達障がいの方を見て怖いという方がまだまだおられるようなので、一般の方、健常者の方に対する理解啓発を進めていただきたい	p31	・あらゆる機会を捉えて、県民に対する各種障がいの理解促進に努めるとともに、障がい福祉制度や施策について県民に分かりやすい情報提供に努めます。なお、遷延性意識障がい、盲ろう、音声機能障がい、失語症など、県民の理解が進んでいない障がいに対する理解を促進します。
7	令和5年6月20日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	見た目に分かりづらい障がいであるため社会から理解を得にくい		
8	令和5年5月25日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	心のバリアフリーについて広く啓発活動を行ってほしい		

9	令和5年6月13日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	日常生活において、障がいを理由とする差別や偏見があると感じている。共生社会実現に向けた、障がいに関する理解の促進を行ってほしい	p31	・あらゆる機会を捉えて、県民に対する各種障がいの理解促進に努めるとともに、障がい福祉制度や施策について県民に分かりやすい情報提供に努めます。なお、遷延性意識障がい、盲ろう、音声機能障がい、失語症など、県民の理解が進んでいない障がいに対する理解を促進します。
10	令和5年5月30日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	自閉症や発達障がいについての理解促進、差別解消、共生社会の実現に向けた取組を強化してほしい		
11	令和5年6月15日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	盲ろう者の方の理解促進を行ってほしい		
12	令和5年5月26日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	外見では分からない障がいであることや、社会が配慮できる体制を整備してほしい		
13	令和5年6月8日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	幼い頃から障がいのある人となし人との交流の機会を設け、障がいへの正しい理解を促進させてほしい	p32	・幼稚園において、障がいのある幼児との直接的な交流を図ることにより、就学前からの障がい及び障がい者への正しい理解を促進します。 ・小中学校において、障がいのある人との交流を図ることにより、障がい及び障がい者への正しい理解を促進します。
14	令和5年5月1日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	選挙公報の点字対応が進んでいない	p46	国政選挙及び県選挙において、選挙公報の点字版及び音声版を発行します。また、市町村長選挙においても選挙公報の点字版及び音声版が発行されるよう働きかけます。
15	令和5年6月5日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	ICT機器の活用講習などの充実	p50	・福祉メディアステーションと連携しICT機器の展示会等を実施し、障がい特性に応じた各種研修事業やICT機器に関する相談・指導事業等の一層の充実を図ります。
16	令和5年5月1日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	視覚障がい者はそもそも図書館を利用する概念がないので、積極的に普及啓発を行ってほしい	p51、 52、 p88～ p89	・図書館では、施設内の移動の容易化、もしくは介助体制を整えることなどを検討し、車いす等での移動に配慮します。また、館内に点字の案内を整備し、視覚障がい者の利用に配慮します。 ・図書館では継続的なデイジー図書の製作・提供、対面読書の実施、視覚・身体障がい者への在宅郵送サービスの実施など、障がいの有無にかかわらず全ての人が図書館を利用できる機会を提供します。 ・図書館では館内にあるバリアフリーコーナーの拡充に努め、障がい者サービス関連の資料や機器を広く紹介します。また、図書館協力者の活動やバリアフリーの取組みについての情報発信を行い、サービスの普及と利用促進を図ります。

17	令和5年5月31日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	図書館、読書と触れ合える環境の整備。LLブックの普及	p51、 52、 p88~ p89	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館では、ウェブサイトのアクセシビリティの向上に努めるとともに、読み上げ機能付きの電子書籍などアクセシブルな資料の収集と提供を継続し、読書や図書館の利用に困難のある方が、利用しやすい形式の資料にアクセスできるよう支援します。 ・図書館では、マルチメディアデージーやLLブックのPRに努め、障がいの理解と資料の利用普及を推進します。図書館では、ディスレクシアなどの学習障がいを対象とした相談会を開催し、活字による読書に困難がある子どものための読書支援を行います。 ・特別支援学校向けのおはなし会・調べ学習・読書に活用できるセット文庫の充実を図るとともに、出前おはなし会を実施するなど、読書に困難のある子どもたちの読書環境整備を推進します。
18	令和5年9月6日 第1回岐阜県障害者 施策推進協議会	障がいのある方が避難訓練に参加できないという声を多く聞いている。市町村に働きかけて改善が必要である	p59	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村や地域が実施する防災訓練について、避難行動要支援者の避難を含めた防災訓練へ拡充するなど、避難行動要支援者と関係者が連携した避難訓練の実施を働きかけます。
19	令和5年4月27日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	聴覚障がい者に配慮された災害対策を行ってほしい		
20	令和5年6月2日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	安心して避難できる体制を整備してほしい		
21	令和5年5月12日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	障がい者も安心して避難できるような体制を整備してほしい		
22	令和5年6月9日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	障がいのある方も安心して避難できるよう災害対策を進めてほしい		
23	令和5年9月6日 第1回岐阜県障害者 施策推進協議会	多様な「学びのスタイル」「学びの場」の整備のため、具体的な施策を盛り込んでいただき取組みを進めてほしい	p63~ p68	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問教育児童生徒について、家庭や医療施設と学校をオンラインでつなぐ通信環境を整備することで学習機会の充実を図ります。 ・聴覚障がい支援を行う特別支援学校が核となり、各地域において、難聴児の子育てについて兄弟を含めた家族同士や当事者同士が交流する機会を設置します。

24	令和5年5月29日 第4期プラン策定に係る 意見聴取	農福連携について、関係部局の連携が必要であることから、プランにおいても分かりやすく位置づけすべき	p77~ p79	・令和4年4月に策定した「ぎふ農福連携アクションプラン」に基づき、「農福連携の理解促進と認知度向上」「農福連携を支える人材育成」「農業と福祉のニーズをつなぐマッチングの強化」「障がい者等が働きやすい環境の整備」「ブランド力向上・販路拡大」を5本の柱として、各種施策に取り組みます。
25	令和5年3月 第4期プラン策定に係る 文書による意見照会	障がいのある人もない人もともにパラスポーツに触れて楽しむイベントの開催	p83、 p84	・障がいのある人もない人も参加できるパラスポーツフェスタ等を実施し、スポーツを通じた障がい者の社会参加を促進します。 ・障がい者が新たなパラスポーツに触れられるよう県下全域でパラスポーツ教室を開催するとともに、競技人口拡大に向けた取組みを支援します。
26	令和5年9月6日 第1回岐阜県障害者 施策推進協議会	「地域生活支援拠点の整備」の整備は設置だけではなく、中身を充実させることが必要	p90	・地域生活支援拠点等にコーディネーターを配置するなど効果的な支援体制の構築を進め、支援の実績等を踏まえ運用状況を検証及び検討し、必要な機能の確保について検討するよう、市町村に促します。 ・地域生活支援拠点等の機能等が様々であることから、運用状況や課題、事例等の研修会等を開催し、地域の実情に応じた整備や必要な機能の充実・強化を支援します。
27	令和5年5月31日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	「親亡き後」の表記の方法について、支援している家族の立場からすると、「親が亡くなるまでは親による支援を優先する」というイメージがある。どのステージにおいても安心して支援を受けられる環境を整備することが連想できるような文言を使ってほしい	p90~ p97	・「親亡き後」の表記については、(1)地域生活支援拠点等の機能の充実、(2)入所等から地域生活への移行、地域生活の継続の支援、(3)障害福祉サービスの充実、質の向上に変更する。
28	令和5年9月6日 第1回岐阜県障害者 施策推進協議会	近年グループホームが多く設置されているが、医療的ケアが必要な障がい者は入居できない	p93	・重度の障がいのある方のグループホームの確保については、地域の課題として地域の自立支援協議会において、課題解決に向け検討するなど地域のサービス基盤の整備を進めていくよう働きかけます。
29	令和5年6月8日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	グループホームが増えているが、医療的ケアが必要な方や重度の方は受け入れてもらえないことが多い		
30	令和5年5月31日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	近年グループホームが増えているが、重度や難病の方を受け入れているにもかかわらず看護師の配置がないなど支援力が低下している。グループホーム及び障害福祉サービス事業所の質の向上に取り組んでほしい		
31	令和5年6月2日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	グループホームは増えているが、重度障がい者の方を入居できる施設が少ない。		

32	令和5年6月7日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	近年グループホームが増えたが、精神保健福祉士や看護師がもっと介入し質の高いサービスを提供してほしい。	p96	・障害福祉サービス等を提供する事業所に対して適正な指導・監査を実施するとともに、必要に応じて行政処分等の行政上の措置を機動的かつ適切に実施することより、事業所の質の向上に努めます。
33	令和5年7月13日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	退院後に居宅で生活する方が増えている。地域移行に向けて、地域における障がいに対する普及啓発が必要	p99	・精神障がい者の社会的入院等を防ぎ、当事者及び家族の意思を尊重した地域移行ができるよう、精神科病院へ入院する際には、本人への支援に加えて、家族を含めた包括的な支援を行います。
34	令和5年6月1日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	児童発達支援事業所に通所する方の親への支援を強化してほしい	p102	・同じ悩みを持つ本人同士や発達障がい児者の家族同士等の活動の提供、周知等を行い、ピアサポート活動の推進を図ります。
35	令和5年2月16日 第2回岐阜県障害者 施策推進協議会	「高齢障がい者のための障がい福祉・介護連携推進事業」について、親亡き後ではなく、親が亡くなる前から取り組む必要がある	p104	・障がい福祉関係団体や有識者から、障がい者本人が親と共に将来の生活について考え、また、グループホームなどの体験利用を進める必要があるなどの意見があり、基幹相談支援センターや相談支援事業所に対して、ガイドラインを示すなどして、本人と親の将来の生活に関するニーズを把握する機会を確保するよう働きかけます。
36	令和5年2月16日 第2回岐阜県障害者 施策推進協議会	障がい児に対する調査については、保護者だけでなく児童の意向も尊重すべき		
37	令和5年9月6日 第1回岐阜県障害者 施策推進協議会	基幹相談支援センターが設置されたが、設置されたら終わりではなく、是非一緒に連携して活動をしていきたい	p109	・岐阜県身体障害者及び知的障害者相談員の更なる活用について促すほか、基幹相談支援センターの研修等の中で効果的な相談員との連携について検討し、好事例があれば紹介するなど連携の促進を図ります。
38	令和5年5月24日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	職員の処遇改善、福祉の仕事の魅力発信等により施設及び事業所の職員の人材確保、育成、定着支援を強化してほしい	p111	・障害福祉サービス施設等の業務省力化、生産性向上のため、介護ロボット、ICT機器等の導入を推進します。
39	令和5年5月31日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	医学の進歩により医療的なケアを要する障がい者は増えていることから、重度訪問介護事業所等の充実により在宅支援を充実させてほしい	p113	・重度訪問介護、行動援護、同行援護など専門的な知識・技能を要する分野を中心に、居宅介護従事者の養成を推進します。

40	令和5年5月24日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	相談支援専門員の資質向上の取組を強化してほしい	p116、 p117	・相談支援従事者研修において、地域の相談支援事業者に従事する人材育成の役割を担う基幹相談支援センター等での演習を取り入れながら、意思決定支援への配慮、高齢障がい者への対応やサービス等利用計画の質の向上等を踏まえた質の高いケアマネジメントを含む地域を基盤としたソーシャルワークを実践できる相談支援専門員を養成します。 ・主任相談支援従事者養成研修の実施により、市町村と連携しながら、地域づくり、人材育成、困難事例への対応等、相談支援に関して地域の指導的な役割を担う人材となる主任相談支援専門員を養成します。
41	令和5年7月20日 第4期プラン策定に係る 意見聴取	相談支援専門員の資質向上の取組みやケアマネとの連携強化、相談支援専門員の地位の向上の取組みなどによる相談支援体制の強化が必要		
42	令和5年2月16日 第2回岐阜県障害者 施策推進協議会	「入院者訪問支援事業」について進めてもらいたい	p120	・「入院者訪問支援事業」の普及を図るため、訪問支援員としての資格保有者の増員に取り組むとともに、入院者の話を誠実かつ熱心に聞き、生活に関する相談や必要な情報提供を行うなど、入院中の精神障がい者の権利擁護を図ります。
43	令和5年5月8日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	退院後のフォロー体制を充実させてほしい		
44	令和5年6月9日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	重度訪問介護では喀痰吸引をやらしてもらえない事業所が多い。多くの介護職の方が喀痰吸引をできるよう、喀痰吸引研修に対する助成を行ってほしい	p124	・岐阜大学大学院医学系研究科内に設置した小児在宅医療教育支援センターの運営、医師・看護師・セラピストなど医療従事者向けの実務的・専門的な研修、医療・福祉等の支援を総合的に調整できるコーディネーターの養成及び喀痰吸引等研修費用の負担軽減等により、医療的ケアが必要な障がい児者を支援する医療・福祉人材の育成・確保を図ります。
45	令和5年5月23日 第4期プラン策定に係る 団体意見聴取	難病で障害福祉サービスを利用している方は少ない。必要なサービスが受けられるよう市町等の窓口において周知していただきたい	p127	・市町村が提供する障害福祉サービスについて、難病患者が必要なサービスを受けられるよう、市町村に周知します。
46	令和5年8月28日 第4期プラン策定に係る 意見聴取	障がい当事者ならびに関係団体、学識経験者、一般市民等にパブリックコメントを求めるとともに、障害福祉サービスに従事する就業者の声を集約した基本計画となるように期待したい	—	・関係団体等への意見聴取、市町村への意見照会、県民アンケート及びパブリックコメントの実施により、広く県民等からの意見を取り入れたプランを作成します。